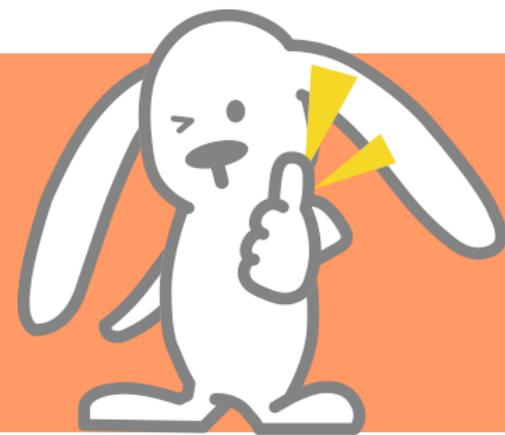


第2・3回作業班 報告



R6.10.30 TaCoLAB資料1

市民協働推進課

作業班実施概要

1 実施日時

第1回 令和6年8月6日(火)15:00~16:00 ← 9/3TaCoLABで報告済み

第2回 令和6年9月11日(水)9:30~11:30

第3回 令和6年10月2日(水)9:30~11:30

← 今回報告する内容

2 出席委員

第1回 加藤委員、遠座委員、永崎委員、岡田委員、橋之爪委員

第2回 田中会長、加藤委員、大関委員、橋之爪委員、岡田委員

第3回 田中会長、加藤委員、永崎委員、大関委員、橋之爪委員、岡田委員

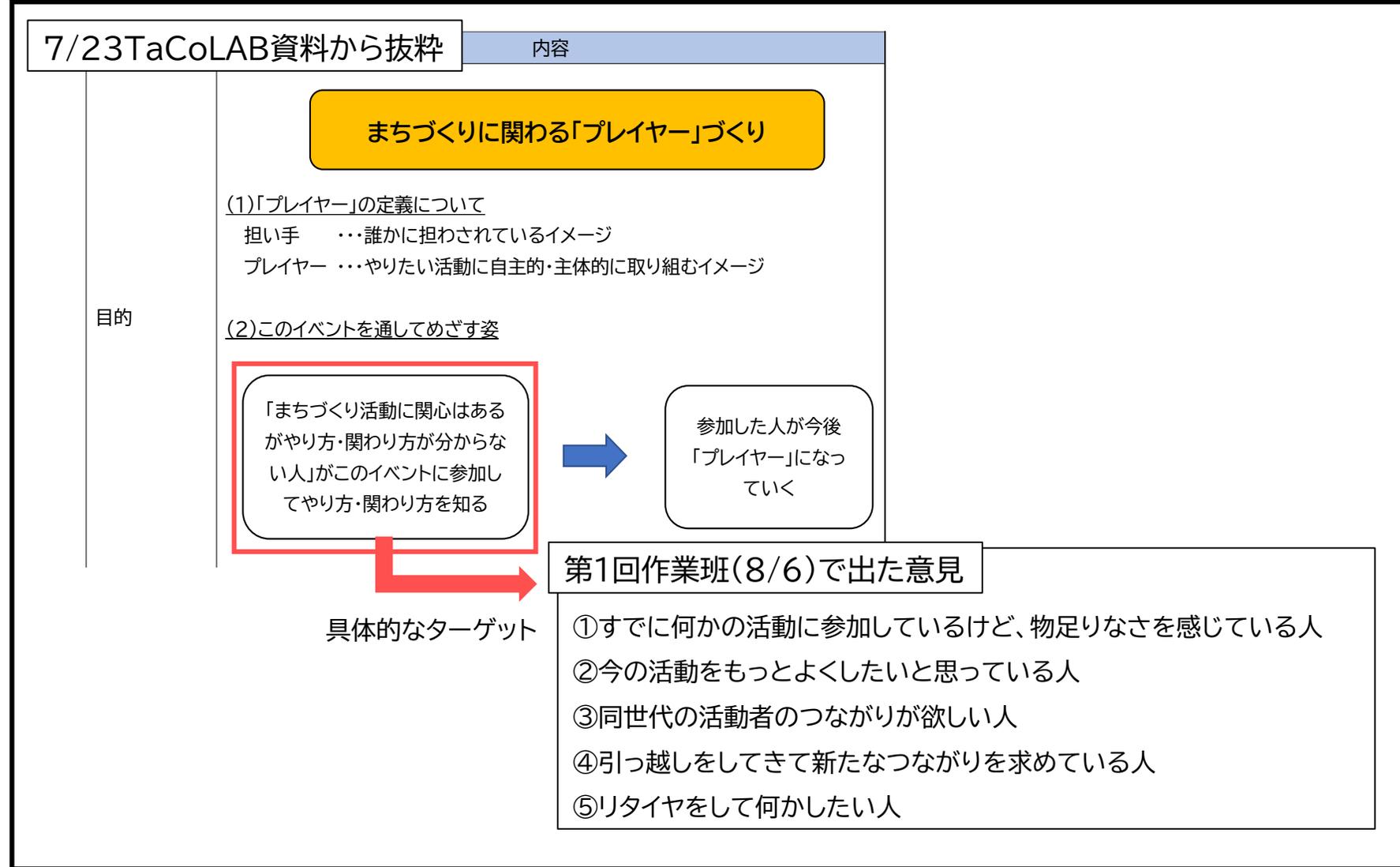
3 主な意見交換の内容

(1)イベントの目的の再確認

(2)プレイヤーづくりに必要なこと

(3)イベントの内容

(1) イベントの目的の再確認



改めて目的を再確認すると、様々な意見が出てきた。

(1) イベントの目的の再確認

イベントの目的について出た意見

- ①「プレイヤーづくり」と聞くと、**自治会やまち協で活動する人を増やすイメージ**
- ②「イベント参加者と団体をマッチングして、プレイヤーとして参加してもらおう」という流れに違和感
- ③自分の地域の課題を感じている人はいるが、
最初から「まちづくりをしたい！まち協・自治会で活動したい！」と考える人はほとんどいない。
→まち協・自治会内の**人のつながりや楽しそうな雰囲気づくりが大切**
- ④実際、プレイヤーは「**いるけど見つけられていない**」
「**いるけどつながりが持てていない、つなぐ仕組みがない**」
「**受け入れ体制が整っていない**」ということではないか？

(2) プレイヤーづくりに必要なこと

(1)をふまえて、プレイヤーづくりに必要なことは大きく2つあることを確認した。

ア 仲間づくり・つながりづくり

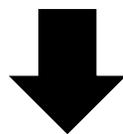
やりたいことや気になることがあっても、個人でできることは限られる。

そういうことを話せる仲間づくり・つながりづくりが大事

イ 受け入れ側の変革

一緒に楽しんでくれる、面白そうだと思ってもらう雰囲気づくり

各地域にコーディネーター的な存在が必要



まずは、**ア 仲間づくり・つながりづくり** につながるイベントを検討してみることとなった。

(3) イベントの内容

宝塚市にはこのような場所がない
という声を聞く。

同じ境遇の人とつながれる場所
悩みや相談事を話せる場所

気軽に集まって情報交換ができる場所
友達、一緒に活動する仲間がつかれる場所

ちょっと行ってみようと思える、気軽に集まれるカフェのようなものが出来たらいいのでは？

例：つながりカフェ(川西市)



主催：市民事務局かわにし(中間支援のNPO法人)

開催日時：毎月、第3木曜日 18:30~20:30

場所：川西市 市民活動センター・男女共同参画センター

参加費：200円(お茶やお菓子など)

作業班案

仮称：つながりカフェ TaCoLAB

- ・令和7年1月～3月に**毎月1回**を目標に定期開催
- ・開催時間:1回約2時間程度
- ・時間帯:昼・夜両方の時間帯で交互に開催

雰囲気	話す内容
<ul style="list-style-type: none">・お茶やお菓子を食べながら、自由に気軽に集まれる場所・行政が開催している雰囲気を出さない！	<ul style="list-style-type: none">・各回、テーマを決めて情報共有、アドバイスし合う。・自分自身の活動の話やPRしたいことを持ちあう。・誹謗中傷をしない、クレーム等はなし・雑談ばかりにならないようサロンとの差別化を図る →こうしたことを「グランドルール」として決めておく。
場所	
<ul style="list-style-type: none">・10～20人程度が入れる場所(例:ここおる(鶴の荘))・毎回場所を変えて開催	
周知	その他
<ul style="list-style-type: none">・口コミ・チラシ・委員のSNSで周知 最初はスモールスタートで！・周知の際に各回のテーマを明記しておく	<ul style="list-style-type: none">・基本は事前申し込み制 (当日飛び込み参加もOK)